

年 組 名前:

株価初の4万円超

終値も最高値更新続く

週明け4日の東京株式市場で、日経平均株価(225種)が史上初めて4万円を超えた。取引開始直後に突破し、終値まで維持した。2月22日に取引時間中と終値の最高値を約34年ぶりに更新した後も上昇の勢いは衰えず、10日余りでの大台突破となった。一方、4日は上昇相場を主導してきた半導体関連株に買い注文が偏り、最上位プライム市場の銘柄の7割超が値下がりした。終値は前週末比198円41銭高の4万0109円23銭。東証株価指数(TOPIX)は3・14%安の2706・28。出来高は約18億5900万株だった。

平均株価は今年に入り、企業業績の拡大や日本経済のデフレ脱却に向けた期待から、急ピッチで上昇してきた。前週末の1日には、4万円まで一時あと10円に迫った。その後のニューヨーク市場でハイテク株主体のナスダック総合指数が終値の過去最高値を更新し、大台突破の機が熟した。4日の東京市場では東京エレクトロなど半導体関連株の上昇が目立ち、朝方には一時、前週末終値比400円超高の4万0314円64銭を付けた。午後は上げ幅を縮小し、4万円を割り込みそうになる場面もあった。値下がりには空運や食料品など多くの業種に及んだ。

みずほ証券の三浦豊シニアテクニカルアナリストは「日米ともにハイテク株は強いが、それ以外の銘柄は業績面で見劣りする」として、当面の利益を確定するための売り注文が出ていると指摘した。

平均株価はバブル経済期の1989年末に終値で3万8915円を付けた後、長期低迷した。2009年3月にはバブル後の最安値となる7054円を記録。12年末にかけて当時の安倍晋三首相の経済政策「アベノミクス」への期待から上昇基調を取り戻し、とりわけ13年に日銀が導入した大規模な金融緩和策で弾みがついた。

|| 関連記事6面



(2024年3月5日付 山梨日日新聞1面)

問1

日経平均株価(225種)が史上初めて4万円を超えた日と、その日の終値、出来高を教えてください。

日付
.....年.....月.....日

終値
.....円.....銭

出来高
.....株

問2

今年に入り、株価が急ピッチで上昇した理由を教えてください。

.....
.....
.....

問3

平均株価は1989年末に3万8915円を付けた後、低迷し、2009年3月には最安値が7054円を記録しました。その後、なにの期待から上昇基調を取り戻しましたか。

.....

問4

平均株価は2009年3月の最安値から、4万円を超えるまでに、何年が掛かり、約何倍の株価になりましたか。

.....年掛かり、約.....倍(小数点以下第二位以下切り捨て)になった。